議長 ごあいさつ

善光寺の世界遺産登録をすすめる会
推進会議 議長　塚田 まゆり

長野市の善光寺さんは善光寺信仰の総本山です。日本全国には443の善光寺仏があり、善光寺を正式な寺名とする寺院は119にものぼる、とうかがっています。

時代を超えて国内外で多くの人々に愛され、心の大きな依り代となっている――まさに日本に、世界に誇る善光寺さん、です。

長野商工会議所は2001（平成13）年10月に「善光寺の世界遺産登録をすすめる会」を発足させました。

善光寺さんの宗教的、建築的、環境的、文化的に優れた数々の特色を未来へと継承し、もっともっと多くの方々に善光寺さんを知ってもらって長野市にもお越し頂き、双方向の新たな交流の創出を期待する意図からです。

これを受けて、長野市は善光寺さんのユネスコの世界遺産登録に向けて、2007（平成19）年12月に世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書と検討状況報告書を長野県と共同で文化庁に提出しました。

善光寺さん周辺の電柱の地中化工事をはじめとした景観整備、世界遺産セミナー、門前文化談義など文化遺産を生かした街づくりを推進する取り組みが行われる中で、本会が取り組まねばならない課題の多さも勉強するに至りました。

中山道の洗馬宿（せばじゅく）から分岐し、松本を経て善光寺に向かう「善光寺道（北国西街道）」も含めて世界遺産登録へアピールしてはとの考えもありますが、本会における喫緊（きっきん）の課題は、長野市民及び長野県民及び出身者の方々ー総称して「信州人」と呼ばせて頂きますがー信州人の方々に「善光寺さんを世界遺産に」という関心と熱意をどう掘り起こし、世界遺産登録への活動のエネルギーにできるかではないか、と思われてなりません。

市民の方々へのヒアリングにおいて「善光寺さんが世界遺産になったら敷居が高くなる」「善光寺さんは知名度がある。世界遺産にしなくても」という声も聞かれています。

庶民に愛されてきたお寺だから、ずーっとこのままで……と願う声もある中で、信州人の方々の関心と熱意を高め、善光寺さん、行政、そして、本会と「四位一体」で力強く大きな夢に向かって進むにはどうすればいいのかーーなにとぞ、皆様方のお知恵とお力をお貸し下さいますようお願い申し上げます。

すすめる会会員一覧

すすめる会は、ご覧の会員の皆様方からの年会費によって活動しております。

朝日病院	信州製袋	長野北ロータリークラブ	長野トヨペット	ベイクックコーポレーション
インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ	信防エディックス	長野県経営者協会	長野西ロータリークラブ	ホテル国際21
植木商店	鈴木土地	長野県建築士事務所協会	長野東ロータリークラブ	増田商会
エーシーエ設計	炭平コーポレーション	長野県社会保険労務士会	長野放送	松澤工業
FMぜんこうじ	駿専青木商店	長野県信用組合	長野ユネスコ協会	マナテック
エムケー精工	善光寺木遣り保存会	長野県信用農業協同組合連合会	長野ロータリークラブ	マルイチ産商
おらが園	善光寺事務局	長野県芸術文化協会	中村建築研究所	萬佳亭
カシヨ	善光寺まちづくり会議	長野県中小企業団体中央会長野支部	中山法律事務所	ミヤテック
北野建設	第一建設工業長野支店	長野市電設業協会	夏目	宮本忠長建築設計事務所
倉田博光会計事務所	タカチホ	長野商工会議所	Nikki Fron	元善町
国際ソロプチミスト長野	高野総本店	〃　篠ノ井支部	日新電機製作所	山口司法書士事務所
国際ソロプチミスト長野みすず	滝澤無線	〃　松代支部	日本旅行 長野支店	八幡屋礒五郎
西條被服	長印	長野商店会連合会	野村證券 長野支店	
システックス	テレビ信州	長野信用金庫	八十二銀行	
信濃毎日新聞社	電算	長野青年会議所	八十二文化財団	
シューマート	東芝 長野支店	長野通運	福澤商店	
信越定期自動車	長野朝日放送	長野都市経営研究所	藤森建設工業	
信越放送	長野観光コンベンションビューロー	長野トヨタ自動車	淵之坊	（50音順）

平成30年12月現在　※表記等で間違いや訂正などございましたら事務局までご連絡下さい。

編集後記

善光寺世界遺産登録に向け会の発足から様々な活動を行って参りました。
今号は、6月に開催した文化遺産フォーラム「善光寺巡礼の道」について掲載させていただきました。かけがえのない日本の宝物「善光寺」を世界の宝物に。そして未来へ引き継ぐために、今後も活動をすすめて参ります。
本会を支えていただいている会員の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

善光寺さんを世界遺産に
ZENKOJI Temple for World Heritage Listing

Vol.15
2018.DEC

NEWS LETTER

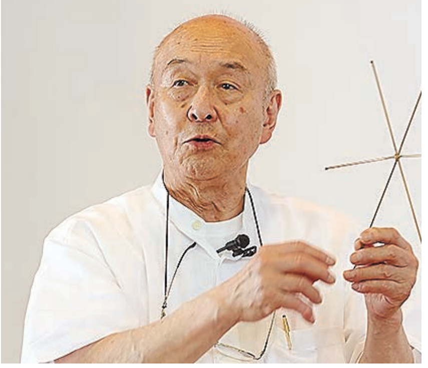
善光寺の世界遺産登録をすすめる会　事務局■ 公益社団法人 長野青年会議所 内
Tel : 026-228-3260
http://www.sekaiisan-zenkoji.jp/

文化遺産フォーラム 善光寺 巡礼の道
～古来から現代につづく善光寺街道・巡礼の道の文化を辿る～

善光寺街道の持つ歴史的・文化的価値を考える「文化遺産フォーラム『善光寺巡礼の道～古来から現代につづく善光寺街道・巡礼の道の文化を辿る～』」は2018年6月30日、長野市の善光寺事務局で開催されました。市民ら約250人が参加。講演とパネルディスカッションを通じて、善光寺巡礼の道の日本遺産認定に向け、認識を深めました。要旨を紹介します。
〈主催〉善光寺の世界遺産登録をすすめる会
〈共催〉善光寺・長野商工会議所・長野青年会議所・信濃毎日新聞社

第1部　基調講演 ～生き続ける信仰とその共通性～

巡礼の道には普遍的価値がある　彫刻家・版画家 池田 宗弘氏



サンティアゴと善光寺の共通点

今や世界中の人々が訪れるスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼道。世界遺産登録前にここを歩き、絵巻物を制作しました。

サンティアゴと善光寺はいろいろ共通点があります。善光寺へお参りに来た人が、山門を通ってご本尊のおられる本堂に向き合うと、正面に掛かる卍と立葵の模様がまず目に入ります。最初にそれを見たとき、「何だ、これは」と思いました。なぜなら、同じものがキリスト教の大聖堂や教会の至る所に彫られているからです。

卍は究極の宇宙、時間と空間を平面に表したものと考えられます。洋の東西を問わず、究極の、無限の時間・空間が、単純で最高のデザインに象徴されているのです。

また、ご本尊の下の闇の回廊を巡る善光寺の「戒壇巡り」と同じような参拝方法がサンティアゴにもあります。「死」と「復活・再生」の形がともに用意されているのです。

巡礼の道は最良の教育の場

人間として生きている限り、必ず心の問題、生き方の問題に行き当たります。信仰、学問、芸術、武術（今はスポーツ）は、人間であるがゆえに必要な分野であり、人間だけに与えられた喜びの世界です。それを高めるにはどうしたらいいのでしょう。

例えば、芸術を高めるには二つの「チョッカン」が欠かせません。一つは霊的な「直感」、インスピレーションです。ただ、直感を得るためには準備期間が必要です。幼少のころから、良いものを、素直に感じる心が養われていなければいけない。見ることの訓練、すなわち「直観」をたくさん積むことが必要です。

聖地を目指して、自分の足で、自分のペースで歩く巡礼の道は、そうした要素が集約された、いわば「最良の教育の場」です。しかも聖地は、巡礼の道の終点であると同時に、人々が新しい世界へ向かう通過点、新しい人生の扉を開く入り口でもあります。それも巡礼のすばらしいところです。

善光寺街道は文化的資産の宝庫

善光寺街道沿い、洗馬から聖地までの町や村や峠には心を打つ石碑・石仏などがたくさんあり、日々の暮らしの中でお参りの対象となっています。伝説・伝承もたくさん生きている。麻績村に移り住んで善光寺街道を歩いてみて、その多さ、多様さ、豊かさに驚かされました。

こうした文化的資産を放っておく手はありません。その可能性を認識し、多くの人々に伝えたい。巡礼の道には普遍的価値があるのですから。

第2部　パネルディスカッション ～善光寺巡礼の道と文化遺産～

パネリスト

- 小瀬 佳彦 氏（麻績村議会議員・善光寺街道協議会会長）
- 轟　寛逸 氏（長野県教育委員会 教育次長）
- 小林 順彦 氏（善光寺寺務総長・本覚院住職）
- 池田 宗弘 氏（彫刻家・版画家）
- 石川 利江 氏（コーディネーター・ISHIKAWA地域文化企画室 代表）

元善光寺―善光寺160キロを「巡礼の道」に　小瀬 佳彦氏

善光寺街道とは中山道の洗馬宿から善光寺に至る道を言い、私が住む麻績はその中間にあります。

善光寺は単に信濃の一寺院ではなく、そこに通じるローカルな道は世界共通の資産になりうる―と教わり、街道を歩いてみました。すると、実にいろいろな発見があり、特に石仏は宝庫。庶民信仰の現れであり、善光寺はそのシンボルであるということを実感しました。

日本に生まれた者を根源的に揺さぶるこの道を復活させたい―と、善光寺街道協議会を組織し、活動してきました。10周年の節目にあたり、単に歩く道ではなく「巡礼の道」として、元善光寺（飯田市）から善光寺まで約160キロを復興させることを新たな目標に定めました。誰も野たれ死にさせない、置き去りにしない―という最先端の思想を持っていたこの巡礼の道を、多くの人に歩いてほしいと願っています。

「日本遺産」を地域に生かすために　轟 寛逸氏

「日本遺産」はわが国の文化・歴史に関わる「ストーリー」を認定する国の制度。県内では２カ所が認定されています。

「ストーリー」は単に歴史や文化的価値の解説ではなく、展開が巧みであること、興味深さ、斬新さ、希少性などが求められる。それを地域の活性化に生かすビジョンや体制の整備も重視されます。

私も善光寺街道を歩いてみましたが、街道筋の面影がたくさん残っていてびっくりしました。文化財群はある。案内板などのモノも整備されている。昔の巡礼者の思いを追体験できるような"舞台装置"があればなお良い。この街道の奥深さに触れさせてくれる「人」も必要です。

「道」には複数の市町村が関わることになりますが、しっかりとした推進体制を構築し、認定後、補助金期間が終了しても意欲的に展開していく道を考えておくことです。

まず歩いて、足元を感じてみませんか　小林 順彦氏

大小500もの峠があり、中山道、北国街道、千国街道などたくさんの街道が血管のように縦横に走っている山国・信州。昔から多くの人々が、そこにある善光寺を目指して歩いてきました。ひるがえって、私たち善光寺に関わる者は、そういう皆さんにきちんと思いを馳せてきただろうか―。そんな反省とともに街道に興味を持ち、私も各地を歩いています。

善光寺街道が世界遺産や日本遺産になればもちろんうれしいですが、何よりも地元の私たちがその価値を見直すことが大事なのではないでしょうか。

新しいことも大事ですが、そこにあるものに光を当てて、次代へつないでいくことも大事。先人に思いを馳せながら、足の裏からそれらを感じ取っていくことによって、人間の直観は磨かれていくのではないでしょうか。ですから皆さん、少し車から降りて、歩いてみませんか。

荒廃から復活へ、サンティアゴに学ぶ　池田 宗弘氏

私がサンティアゴ街道を歩いた1980年代は、巡礼宿も食堂も、案内の地図もなく、最悪の廃れた状態でした。「これでは駄目だ」と、ある司祭が道しるべ代わりに黄色い矢印を道端の岩などに描き始めたことをきっかけに、この道を歩く人が増え、急速に復活していったのです。

サンティアゴでさえそうだったのですから、善光寺街道の復興ができないはずはないのです。

日本遺産登録を目指して　善光寺巡礼の道

元善光寺から善光寺まで160km、祈りの旅

善光寺道を歩いて善光寺参りをする。100年前まで、それはあたりまえのことでした。スペインサンチャゴ巡礼道の復興以後、世界中の人々は歩くプロセスが巡礼の本質であることに気づきはじめました。善光寺が再び全国に散在する「善光寺道」の道標とつながる時、日本を代表する巡礼の聖地は蘇ります。善光寺巡礼の道に踏み出す一歩は、そのための「始めの一歩」なのです。

善光寺（長野市）　©善光寺

元善光寺（飯田市）

信濃の街道と善光寺巡礼の道